

学校だより

令和8年2月2日



いちよう

目指す学校像

生徒一人一人の力が伸びる学校

新座市立第三中学校

〒352-0015 新座市池田1-1-1

TEL (048) 479-4052 FAX 482-0133

「応援の力を信じて」

教頭 須藤 恵介

今年2026年は、世界中が注目する大きなスポーツの祭典が複数開催されます。2月、イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォを舞台とした冬季オリンピック、3月、野球の世界一を決めるWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）、そして6月、サッカーのワールドカップです。

日本人選手の活躍はもちろんのこと、各国の代表選手たちが自分たちの夢や目標、そして国の誇りをかけて全力で挑む姿は、きっと私たちに大きな感動を与えてくれることでしょう。選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できるのは、日々の厳しい練習や努力はもちろんですが、何よりも家族や仲間、そして世界中の人々からの熱い応援があるからこそです。応援は、選手たちの心の支えとなり、時には奇跡を生む原動力にもなります。

スポーツの世界だけでなく、私たちの日常生活や学校生活でも、応援の力は大きな意味を持っています。「頑張れ！」と声をかけること、拍手を送ること、そっと見守ること、あるいは心の中で相手の成功を願うことも、すべて応援の形です。応援には、目には見えませんが、とても大きな力があります。誰かから応援されることで勇気が湧き、最後まで諦めずに頑張ることができた経験がある人も多いのではないのでしょうか。

1月25日に本校教員9名、部活動の生徒とともに、新座市ロードレース大会に出場してきました。レース中は非常に苦しく心が挫け、歩きたくなりましたが、「教頭先生、頑張っ〜！」という言葉をかけてもらうたびに、不思議と力が湧き最後までゴールすることができました。おかげさまで自己ベストのタイムを出すことができました。頂いた応援は、本当に心強く、いかに自分の背中を押してくれるか実感しました。レース後、参加した先生方みんなが沿道からの応援の力について言及し、感謝していました。

3年生のみなさんは受験シーズン真っ只中です。不安や緊張、プレッシャーを感じている人もいるかもしれませんが、皆さんの努力を見守り、応援してくれている人が必ずいます。どうか、自分を信じて最後まで諦めずに挑戦してください。

保護者の皆さま、お子さんが新しいことに挑戦したり、困難に立ち向かったりしているとき、ぜひ温かい言葉をかけてあげてください。時には、なかなか結果が出ず、保護者の方が歯痒い思いや不安に駆られることもあるかもしれませんが、そんなときこそ応援に力を注ぎ、自信を持って前に進めるよう、そっと背中を押してあげてください。

応援は、する人もされる人も、どちらも幸せな気持ちにしてくれます。相手の成長や成功と一緒に喜び合えるだけでなく、自分自身も人を思いやる優しい心を育むことができます。応援の力を信じて、日々の生活の中で励まし合いながら、夢や目標に向かって一步一步進んでまいりましょう。